



特許取得(日本)
(アメリカ)

S-Stage KIT (106cc / SCUT) 取扱説明書

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
- ・使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号 01—05—5311

01—04—0117 (シリンダーキット)

モンキー / ゴリラ	Z50J-2000001 ~	ダックス	AB26-1000001 ~
	AB27-1000001 ~	CRF50F	AE03-1400001 ~
CD50	CD50-1500001 ~	XR50R	AE03-1000001 ~
CL50	CD50-4000001 ~		

～特徴～

- ノーマルクランクシャフトやクランクケースの加工無しでも106ccにボアアップが可能な特許構造SCUT。シリンダーにはオイルジェットを設け、ピストン、コンロッドの潤滑や冷却を行います。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR - U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はCR8HSA (NGK) または、U24FS - U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

▲ 当キット使用についてのご注意 ▲

本キット取り付けには、強化クラッチ (フリクション3枚タイプ) と強化オイルポンプが必要となります。
この取り付け部品をつけていない場合、保証の対象にはなりません。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種への変更(注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります。走行し、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい)。

現在、原付2種の登録をされている方で排気量に変更がある場合は排気量変更登録等を全て済ませて下さい。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックス及びエアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。

シリンダー部より聞こえてくる音が大きく感じる事があります。

この取扱説明書に記載の作業はモンキーの車両を主体としており、他の適応車両には適さない場合があります。

燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

外気温が高い場合はオイルクーラーの取り付けと使用をお勧めします。

ノーマルマフラー及びノーマルキャブレターでの走行も可能ですが、ポテンシャルが充分発揮出来ませんので、マフラー及びキャブレターの交換をお勧めします。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り適法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行ってください。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させていただきます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

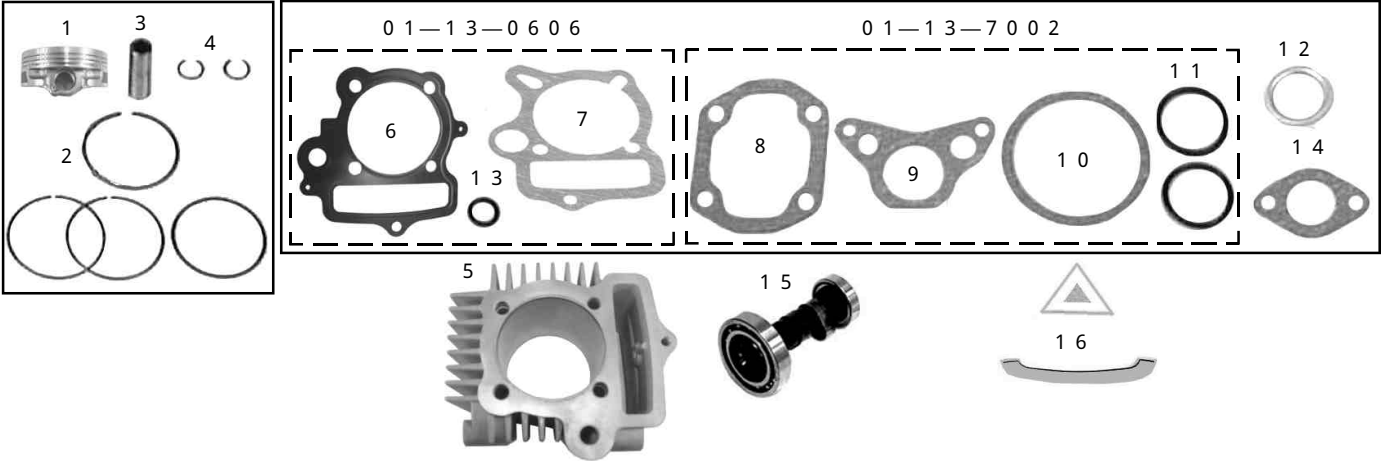
Lesson

ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。
ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。1 ～ 2 回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ 3 ～ 4 回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。
ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書では P L 法(製造物責任法)によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。
但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてどれぐらいの力で締めるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

キット内容

0 1—0 2—0 1 2 7

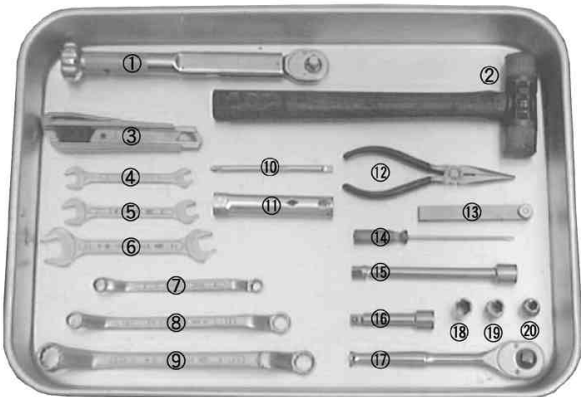
0 1—1 3—0 6 0 7



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入 数
1	ピストン	1		
2	ピストンリング	1	1 3 0 1 2—R A S—T 0 0	1
3	ピストンピン	1	0 0—0 1—0 0 1 3	1
4	ピストンピンサークリップ	2	0 0—0 1—0 0 0 3	6
5	シリンダー	1	0 1—0 1—0 2 2 0	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	1 2 2 5 1—G F L—T 1 0	1
7	シリンダーガスケット	1	0 0—0 1—0 0 6 7	2
8	ヘッドカバーガスケット	1		1
9	右サイドカバーガスケット	1	0 1—1 3—7 0 0 2	1
10	左サイドカバーガスケット	1		1
11	タペットキャップOリング	2		2
12	エキゾーストパイプガスケット	1	0 0—0 1—0 0 6 4	2
13	ラバーパッキン	1	0 0—0 1—0 0 6 6	2
14	インレットパイプガスケット	1	9 1 3 0 1—1 8 1—T 0 1	1
15	カムシャフト	1	0 1—0 8—0 0 0 9	1
16	原付 2 種マークセット	1		

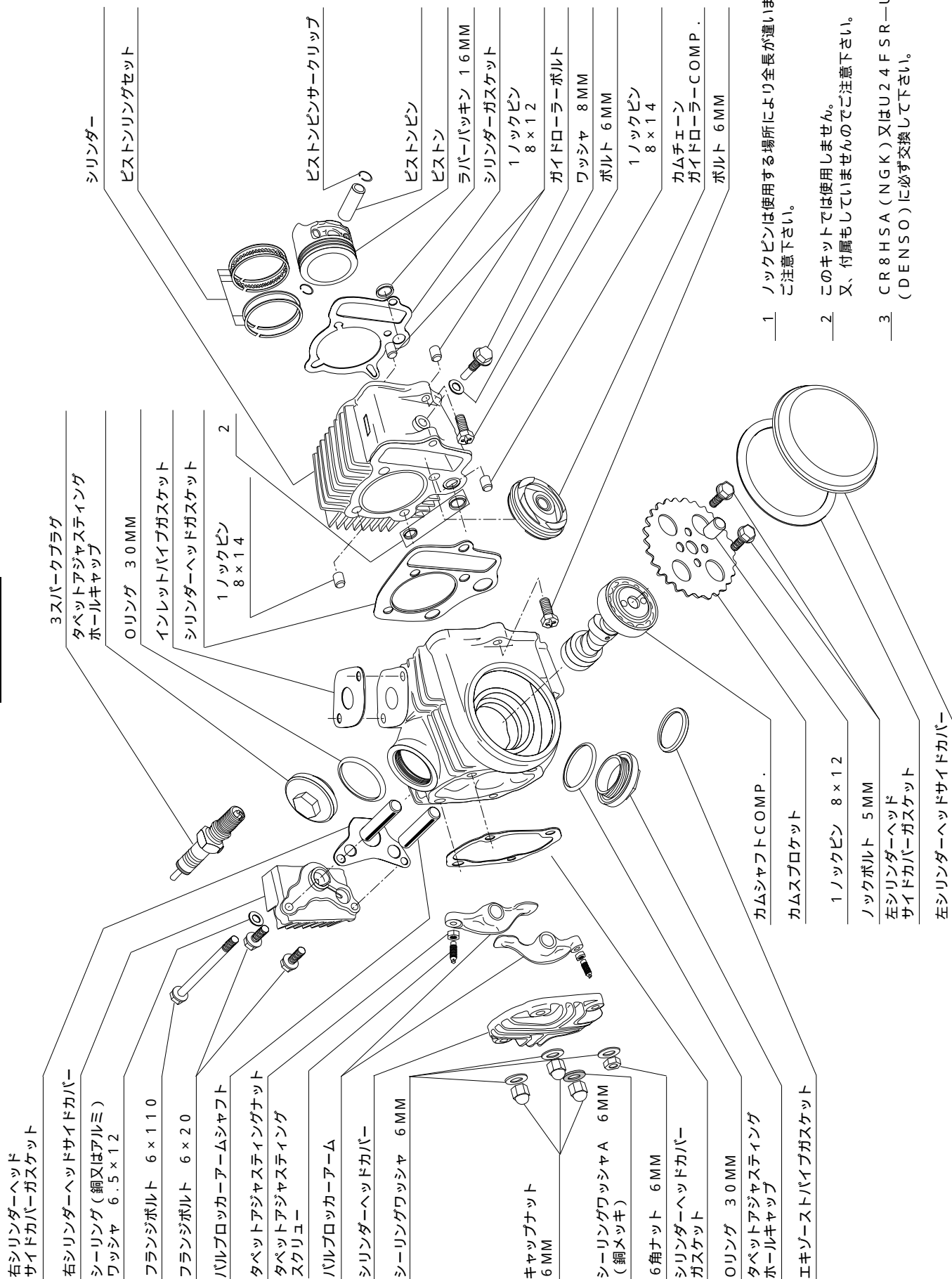
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
部品番号 1 5、1 6 は 0 1—0 4—0 1 1 7(シリンダーキット)には含まれません。

取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	1 1	プラグレンチ(車載工具)
2	プラスチックハンマー	1 2	ラジオペンチ
3	カッターナイフ	1 3	シックネスゲージ
4	スパナ 1 0—1 2	1 4	マイナスドライバー(極細先)
5	スパナ 1 2—1 4	1 5	ジョイント(中)
6	スパナ 1 4—1 7	1 6	ジョイント(小)
7	メガネレンチ 1 0—1 2	1 7	ボックスレンチ 1 4 mm
8	メガネレンチ 1 2—1 4	1 8	ボックスレンチ 1 2 mm
9	メガネレンチ 1 4—1 7	1 9	ボックスレンチ 1 0 mm
1 0	プラグレンチハンドル(車載工具)	2 0	ラチェットレンチ

各部品名称



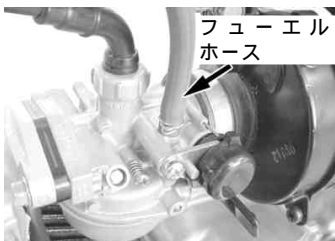
- 1 ノックピンは使用する場所により全長が違います。
ご注意ください。
- 2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意ください。
- 3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR-U
(DENSO) に必ず交換して下さい。

STD部品取り外し

1. キャブレターを取り外す



ガソリンタンク左下部にあるガソリンコックをOFFにする。



フューエル
ホース

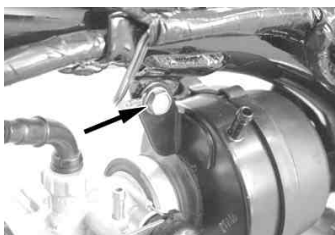


大気ホース

フューエルホースと大気ホースを取り外す。



ストレージタンクのホース（フレームNo. AB27-の車両の場合）を抜き取る。



エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。
使用工具
ソケット 10 mm & エクステンションバー中



シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り外す。

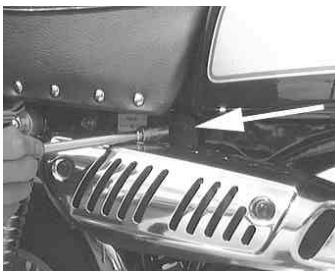
使用工具
8 mmメガネレンチ
スロットルケーブルを取り付けたままキャブレターASSYを左前方のウインカーに引っかけておく。

2. マフラーを取り外す



EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10 mmスパナ



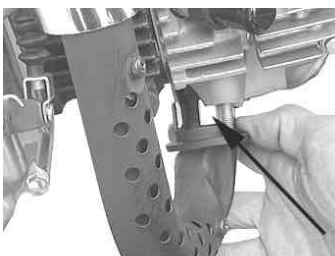
マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
12 mmボックスレンチ & 中ロングジョイント

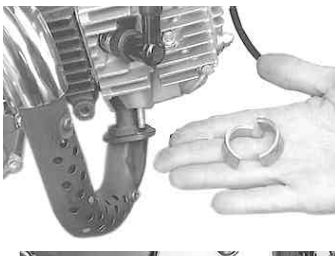


マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10 mmボックスレンチ & 中ロングジョイント



フランジのカラー2個を取り外し外側に引くようにしてマフラーを車体から取り外す。



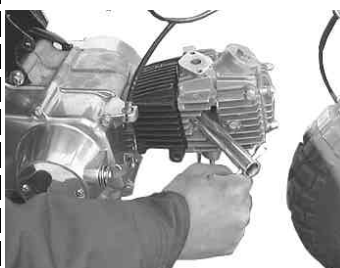
3. フロントフェンダーを取り外す



フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10 mmボックスレンチ & ショートジョイント

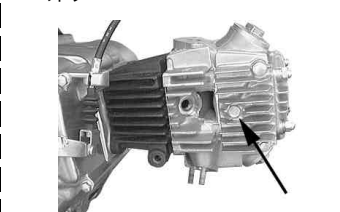
4. スパークプラグを取り外す



プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。

車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

5. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2-3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる。

使用工具
10 mmボックスレンチ

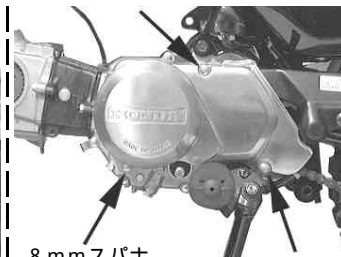


6. クランクケース左カバー取り外す



シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10 mmメガネレンチ



8 mmスパナ

クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
8 mmスパナ
8 mmボックスレンチ & ショートジョイント

7. タペットキャップ2個を取り外す



タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
1.7 mmメガネレンチ

8. カムスプロケットを取り外す



切り欠き

Oの刻印

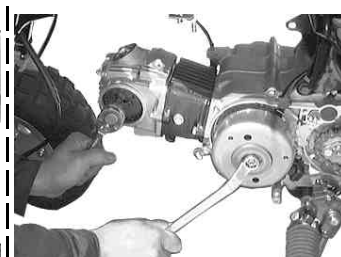


切り欠き

F T

フライホイール

フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークが各切り欠きに合うようにフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
8 mmボックスレンチ
1.4 mmメガネレンチ（フライホイール固定用）



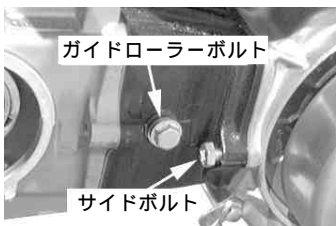
カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。
カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

9. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10mmスパナレンチ



シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回しゆるめる。

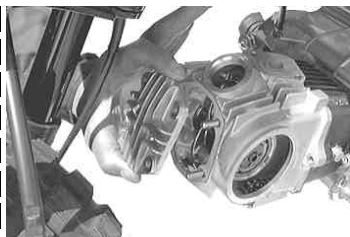
使用工具
10mmスパナレンチ & 10mmメガネ

10. シリンダーヘッドカバーを取り外す



シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

使用工具
10mmボックスレンチ



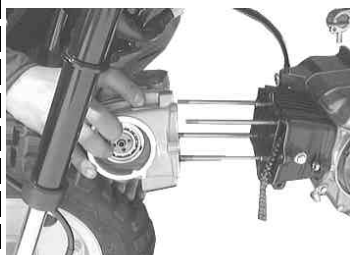
ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーやカッター等できれいに取り除く。

11. シリンダーヘッドを取り外す

フロントタイヤの空気を抜く。(プラスドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音がでなくなるまで押し続けます。)



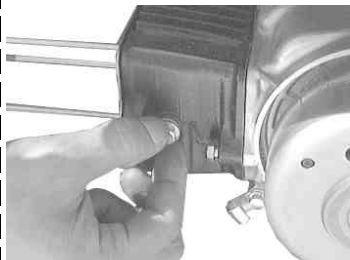
シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



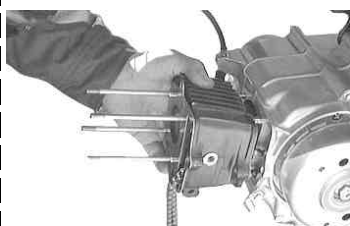
フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただきたいと思います。

ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

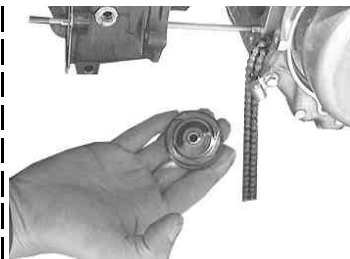
12. シリンダーを取り外す



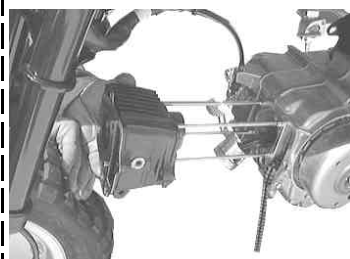
ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

13. ピストンを取り外す



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



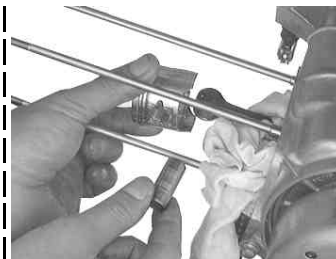
ピストンピンサークリップ

ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れる。

使用工具
先の細いマイナスドライバー



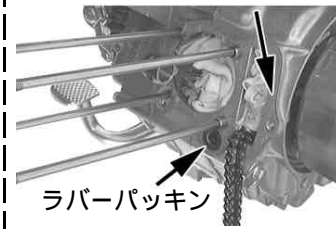
ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



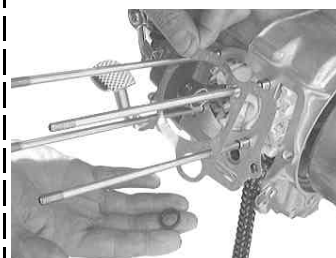
ピストンを取り外す。

14. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

シリンダーガスケット



ラバーパッキン



ガスケットがきれいににはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

15. クラッチ及びオイルポンプの取り付け

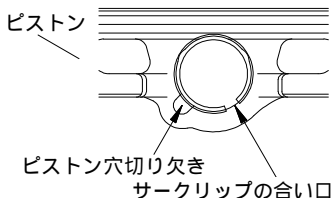
当キットを使用するには、オイルポンプとクラッチの強化が必要です。
クラッチ及びオイルポンプは、現時点での作業からの取り付けが大変行い易いです。

S - StageKIT 取り付け

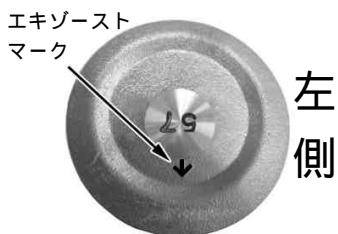
1. ピストンを組み付ける



ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。



ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

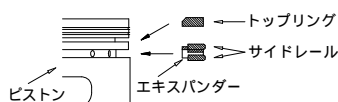
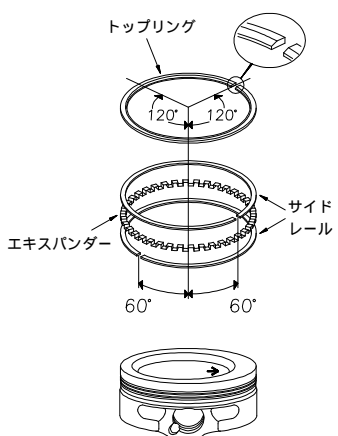


ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。ピストンピンサークリップは左側を先にはめ込みます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー

ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、トップリングの順に取り付ける。

ピストンリングの合い口をそろえる



断面に注意！！



オイルリングエキスパンダーを入れる。



下オイルリングサイドレールを入れる。



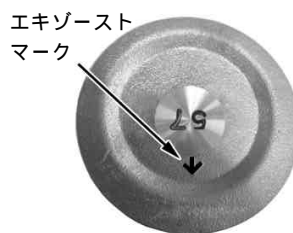
上オイルリングサイドレールを入れる。



トップリングを入れる。



ピストンピン部とコンロッド小端部にエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



ピストンヘッド部矢印マークの先を下(エキゾースト側)になるようにしてピストンを取り付ける。



ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



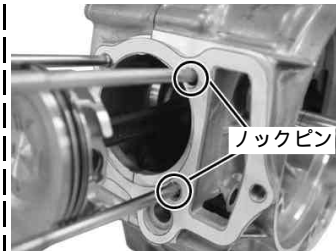
ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う事。目に入らぬように防護メガネなどを着用する事。詰めていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



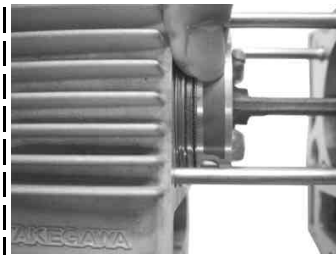
ノックピン2個が取り付けられているか点検。



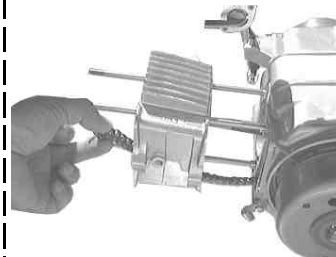
キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



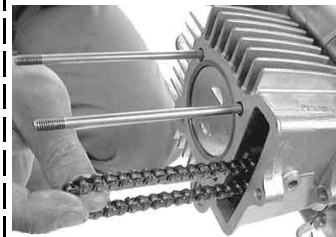
タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



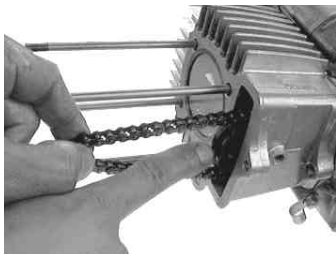
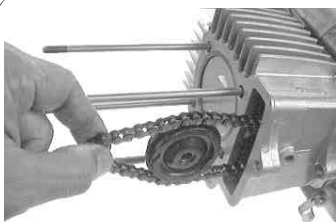
シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し1本づつはめる。



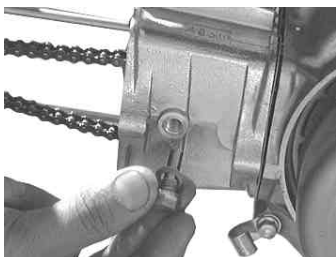
ピストンがシリンダーにはいたらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースに取り付ける。



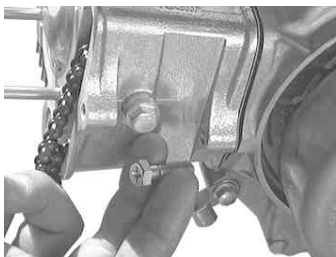
カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。



シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



ガイドローラーボルトを取り付ける。
(指で閉まる程度まで仮止め)



シリンダーサイドボルトを取り付ける。
(指でしめる程度まで仮止め)

3. カムシャフト交換

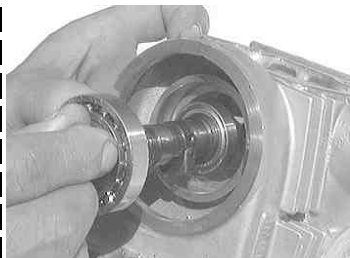


シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットアジャスティングナットとタペットアジャスティングスクリューを取り外す。タペットアジャスティングナットを緩めた時点でタペットアジャスティングスクリューと一緒に取り外す。

使用工具
9 mmメガネレンチ



カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付け。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



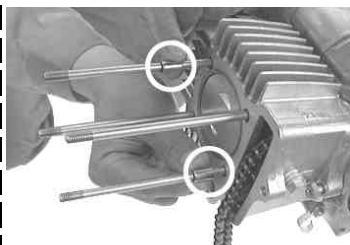
ノーマルカムのノックピンをキットカムに取り付ける。



ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付け。

4. シリンダーヘッド取り付け

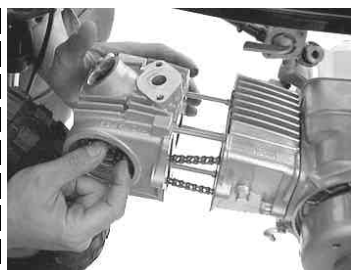
シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



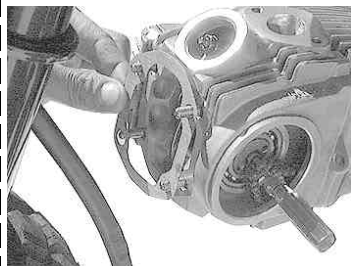
ヘッドガスケットを取り付ける。



タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。
シリンダーヘッドにカムチェーンを通して取り付け。



カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。

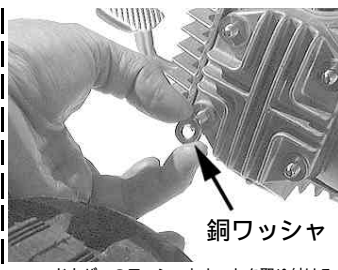
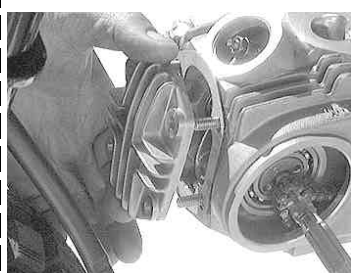


シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



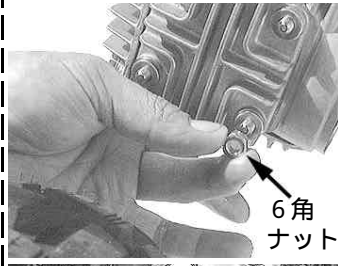
マークに注意

矢印は下の方向です。

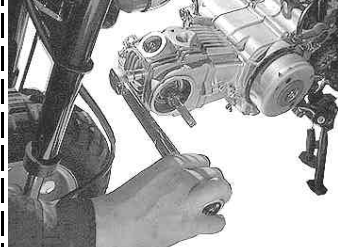


銅ワッシャ

ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。
(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が6角ナット残りの3つがふくろナット)



6角ナット

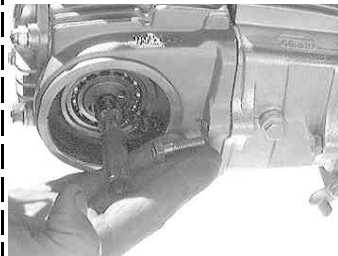


ヘッドナットを均等に締め付ける。
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

△注意：必ず規定トルクを守る事。

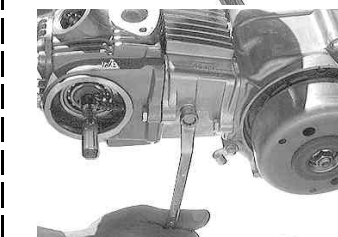
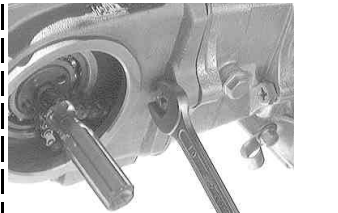
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

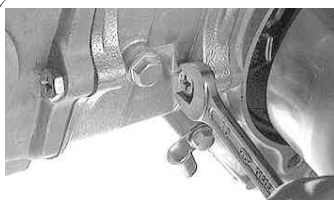
使用工具
10 mmボックスレンチ



ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具
10 mmスパナレンチ
10 mmメガネレンチ





△注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
10 N・m (1.0 kgf・m)
サイドボルト上下
10 N・m (1.0 kgf・m)

5. カムプロケットの取り付け



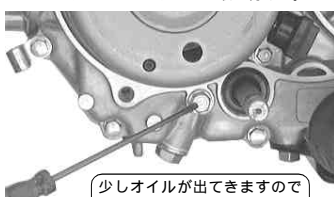
フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。

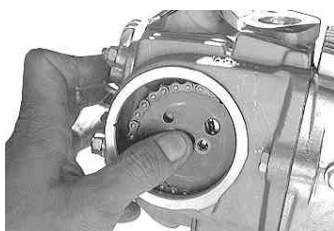


カムシャフトにロックピンを取り付ける。

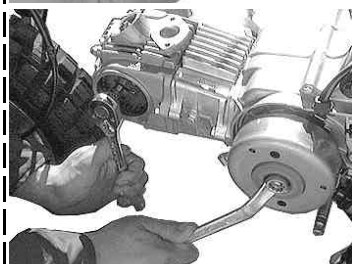


少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取して下さい。

チェンベダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンションがゆるむのはめやすくなる。



カムプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。カムプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。



フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)

使用工具
8 mmボックスレンチ
14 mmメガネレンチ



先程、取り外したチェンベダルシャフト横の六角ボルトを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

使用工具
10 mmメガネレンチ

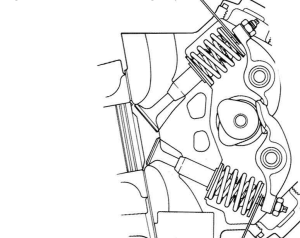
6. タペット隙間の調整



シリンダーヘッド側

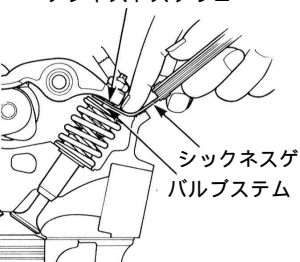
カムプロケットのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切り欠きに合う様に止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットとフライホイールが同時に合えばOK。

バルブクリアランス (インテーク側)



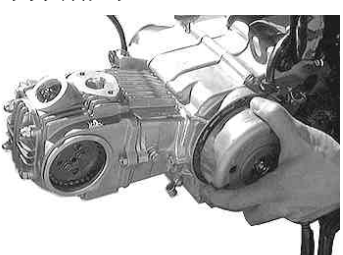
バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー

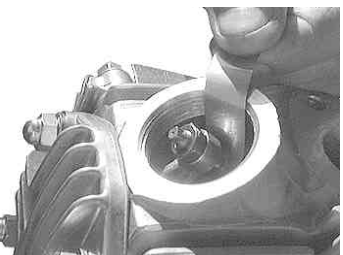


ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける (少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるく入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる) IN・EX共に0.05ミリに合わせる。

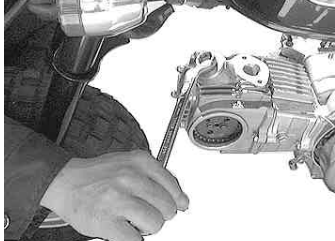
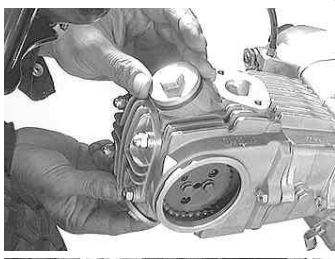
使用工具
ラジオペンチ, 9 mmメガネレンチ
シクネスゲージ



タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。



タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は再度調整する。



タペットキャップ2個を取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

使用工具
17 mmメガネレンチ

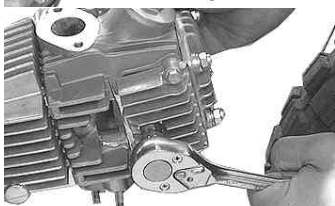
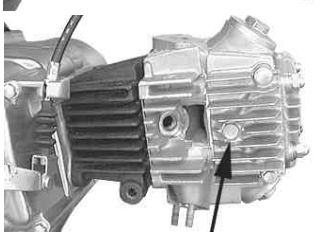
7. シリンダーヘッド左カバー取り付け



シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。(左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りに回らないように回り止めを合わせる)



(回り止めを合わせる)

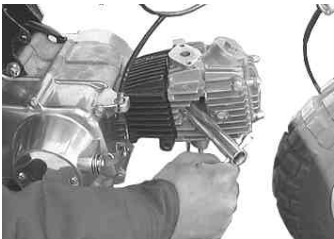


シリンダーヘッド右側の六角ボルト (矢印) を締める。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

使用工具
10 mmボックスレンチ

8. スパークプラグの取り付け



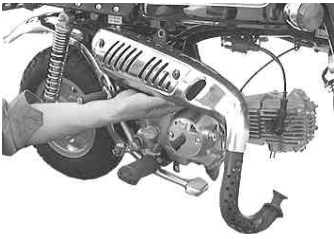
車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：11N・m(1.1kgf・m)

使用工具 プラグレンチ

プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け



マフラーは、先にテールパイプをリアショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。



フランジのカラー2個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付ける。



EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

10mmスパナ



マフラー本体裏側にナットを取り付ける。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

10mmボックスレンチ&ロングジョイント



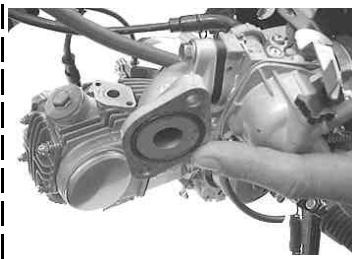
マフラー本体を止めている6角ボルトを取り付ける。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：26N・m(2.7kgf・m)

使用工具

12mmボックスレンチ&ロングジョイント
仮止めの三カ所を締め付ける。

10. ノーマルキャブレターの取り付け



インレットパイプにOリングが付いていることを確認する。(フレームNO. Z50Jの車両)

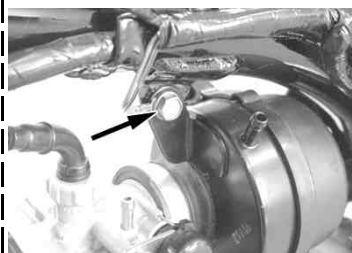


シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

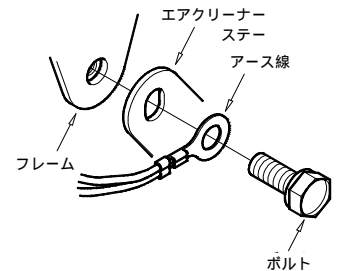
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

8mmメガネレンチ



エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共締めで取り付ける。(下図参照)



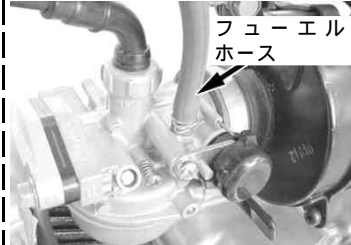
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

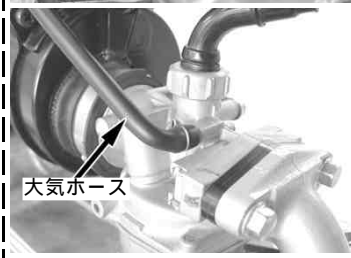
ソケット10mm&エクステンションバー中



ストレージタンクのホース(フレームNO. AB27-の車両)を取り付ける。



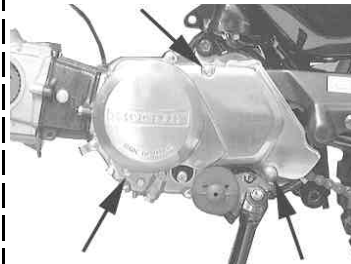
フューエルホース



大気ホース

フューエルホースと大気ホースを取り付ける。

11. クランクケース左カバーの取り付け



クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

8mmボックスレンチ&ショートジョイント



チェンジベダルを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

10mmメガネレンチ

12. フロントフェンダーを取り付ける



フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を締めて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

使用工具

10mmボックスレンチ&ショートジョイント

タイヤ空気を入れる

エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

●ご走行前に

1 お願い

一般公道を走行される場合は小型 2 輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付 2 種への変更(注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります)を行い、強制賠償保険の排気量変更の申請を行って下さい。

原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
キット内の原付 2 種マークをお貼り下さい。

2 使用燃料について

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。
このキットはノーマル点火時期にて使用する事に限ります。点火時期を極端に早める場合は対応しかねますのでご了承下さい。

3 取り付け必要品として

本キットを取り付け走行するには以下の部品が取り付けに必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

3-1 オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着は必要です。

必須スーパーオイルポンプ

車種	品 番
12Vモンキー・ゴリラ	
ベンリーCD50/CL50/50S	01-16-0053 (加工工具付属)
12Vダックス	01-16-0052 (加工工具無)
XR50R/CRF50F	

3-2 クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝えることが出来ません。必須クラッチ、強化クラッチ(SPLクラッチ含む)の装着は必要となります。

必須クラッチ

車種	品 番
12Vモンキー・ゴリラ	02-01-0202 (一次減速比変更なし)
ベンリーCD50/CL50/50S	02-01-0214 (一次減速比を16/69→18/67へ)
12Vダックス	02-01-0215 強化遠心クラッチキット
	02-01-0511 遠心からマニュアルへの変更キット
XR50R/CRF50F	02-01-0512 遠心からマニュアルへの変更キット(XR50R/CRF50F専用 クラッチ・レバー付)

4 スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギア化を各自で行って下さい。
スプロケットはキット内に含まれておりません。
スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。
ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。メンテナンススタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S-ステージ S C U T 推奨スプロケット(体重65kg時)

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット(フロント)	ドリブンスプロケット(リア)
12Vモンキー・ゴリラ	8インチ	マニュアル	4速	16	23
		強化スペシャル	4速	16	25
	10インチ	マニュアル	4速	16	25
		強化スペシャル	4速	16	28
ベンリーCD50/CL50/50S	17インチ	マニュアル	4速	16	42、43(ノーマル)
12Vダックス	10インチ	遠心	3速	16	31

ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすることが出来ない、または足りなくなる場合があります。
チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。特に、モンキーの場合などはスイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

●更なる性能を発揮させるために

1 キャブレター

S-ステージの出力を有効に引き出す、各車種専用のビックボアキャブレターキットを取り付けることにより、更なるパワーアップが可能です。

S-ステージ S C U T 推奨ビックボアキャブレターキット

車種	品 番
12Vモンキー・ゴリラ	03-05-320 (PC18)
	03-05-0045 (VM22)
ベンリーCD50/CL50/50S	03-05-033 (PC20)
12Vダックス	03-05-321 (PC18)
	03-05-0047 (VM22)
XR50R/CRF50F	03-05-3244 (PC18)

2 マフラー

更なるパワーアップには弊社製各種マフラーをご使用下さい。

3 オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。